

庚号外

大輔

少輔



皇上前白沙護少鶴嶋等燈  
臺下落成位是方別紙通  
出方白書也心得以有子年連也

壬申十月 山尾工部丞

諸省宛

航海者へ布告

皇  
宣  
令

0702

白油燈修葺志

日本政府布告下関海峡ノ西  
入口六連島ノ西ニ曲立前國監島  
之西南ニ富ル低礁白油ノ建築  
セル燈臺ヲ於テ本冠城ニ点燈假  
燈ノ役ヲ以テ五年十月朔日西曆  
千八  
百七十三年十二月一日ニ燈ヲ始トシ市後  
毎夜日没ヨリ日出マテ点燈ス

0703

一燈表之 位是也 子蛇 昭之 光自景  
左 詳記スル者ナリ

明治五年十月二日

西曆一千八百七十二年十一月二日

横濱市天

工部省 勿島燈臺 監察

工部省 三等 出仕 量燈臺 佐野 岩氏

一白海燈臺 藍島之西南九里

0704

半 海軍ニシテ富見 低礁 白濁ノ南極  
ニ中ニ蓋ス此地ハ小緯 三十三度五十分  
九分三十分 新ニテ 英國ノグリニニッテ  
ヲ東經 百三十三度 四十分 二十四分  
ニ當ル

一 燈 赤白 四角 木造 三ツ燈 石  
ニ中央ニテ 高サ 四丈 三尺 一ツリ

一 燈 照ハ 赤 赤色 三ツ 金 漆 以 照

0705

輝

燈火の光り海面より四丈二尺ニミテ  
其光線凡十里 海軍に奉る

築込可補負

ステルリコクワイスメエル

航海志の布告

鶴島燈台

一日本政府市告ス 津戸内港

0706

國ノ中島鶴島ノ於テ亦三尊燈

明リ設テ昭信五年十月廿五日

西曆一千八百七十三年 之夜可然トシテ未後

毎夜日没リ日出テ点燈ス燈臺

之燈臺希ク燈明ト完氣ハ左記

スルモノナリ

明治五年十月二日

西曆一千八百七十三年十月二日

0707

榜圖解天

工部省自白燈表の事

工部省三等出仕並燈表院佐野常氏

一鶴島燈表の表内より島ノ南

端に接近セル少島鶴島ノ項ニ建

立ス此地ハ少緯三十四分二十三分

十五秒ニテ英金一クリニツレヨリ

東経百三十三度四十分五秒ニ

工部省

0708

中島

燈臺の石造ニテ燈臺ニ  
 中央マテ高廿二丈一尺ナリ燈臺ハ  
 才三等ノ白曲射ニテ  
 海面二百六十五度即チ北十五度東  
 南西ヲ廻リ北十五度西マテノ  
 方位ヲ照輝シ其ノ他ハ影陰ス但  
 其ノ方位也

0709



一燈之火の高サ海面から丈五尺に三寸  
其光線九十五里海面に達ス

架造字補負

ステルリニクワクスニエル

世尊

0710

